

業務委託見積システム

for Windows

Ver 2. x. x

システム導入ガイド

1. 処理を始める前に	1
1-1. ライセンス認証について	1
1-2. 導入の流れ	1
1-3. ハードウェアプロテクタについての説明	2
2. プロテクトドライバのインストール	3
2-1. ドライバインストーラのダウンロード	3
2-2. ドライバのインストール	3
2-3. ハードウェアプロテクタの接続	5
3. 業務委託見積システムのインストール	6
3-1. システムインストーラのダウンロード	6
3-2. システムのインストール	6
3-3. データベースインストーラのダウンロード	8
3-4. データベースのインストール	8
3-5. MICROSOFT.NET FRAMEWORK4.5以降のインストール	10
4. ライセンス認証情報の設定	11
4-1. システムの起動	11
4-2. ライセンス認証情報の設定	11
5. 初期ログイン（新規ユーザID登録）	13
6. CDイメージ又はCDを使用する場合のセットアップ方法	15
6-1. CDイメージをダウンロード	15
6-2. プロテクトドライバのインストール	16
6-3. 業務委託見積システムのインストール	16

1. 処理を始める前に

1-1. ライセンス認証について

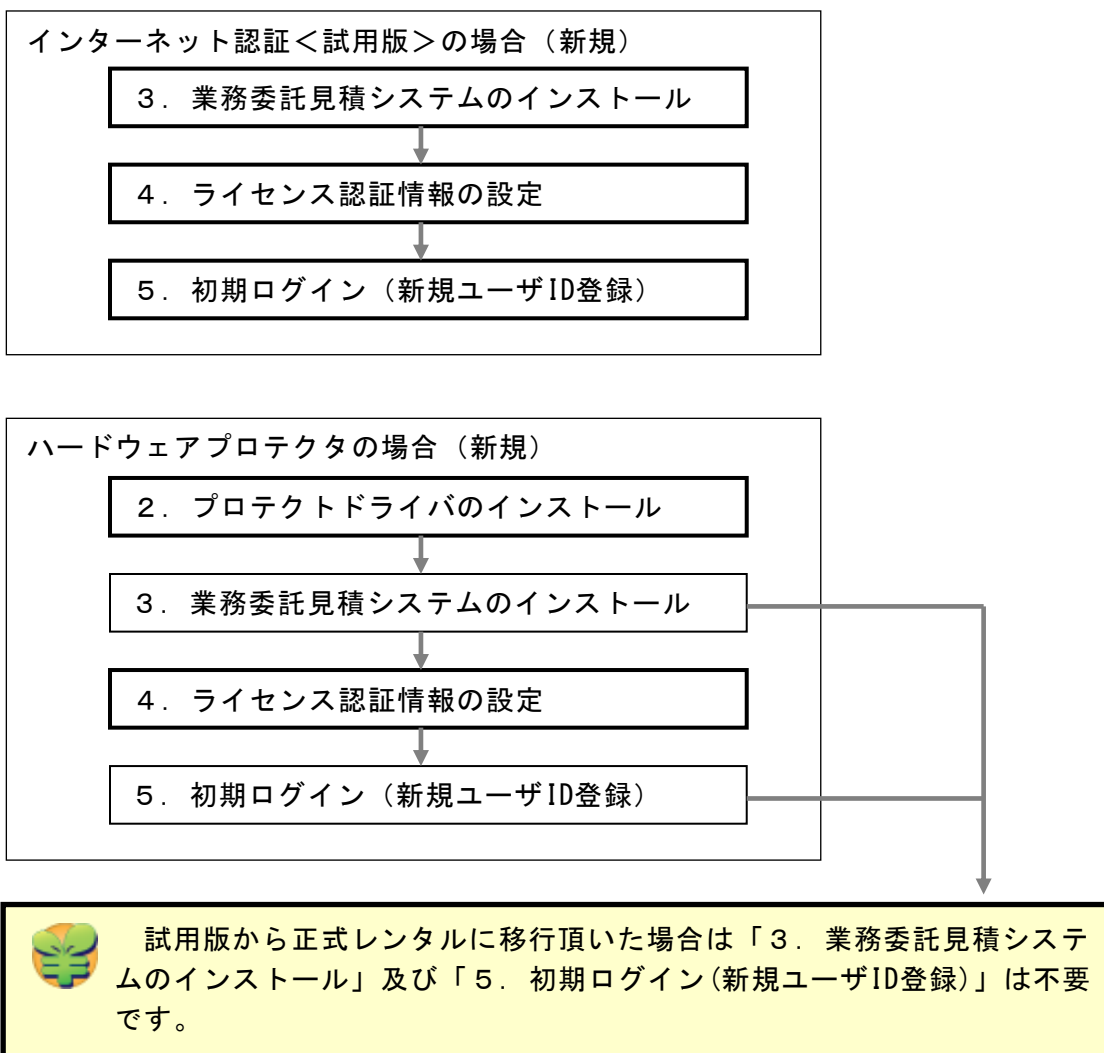
「業務委託見積システムfor Windows」をご利用頂くためには、ライセンスの認証をして頂く必要があります。認証方法にはインターネット経由でのソフトウェア認証とハードウェアプロテクタを使用するハードウェア認証の2種類があり、ご契約段階によって異なります。以下の通り、その時点での認証方法に従ってパソコンの設定をして頂く必要があります。

認証方法 契約段階	インターネット認証	ハードウェアプロテクタ認証 (スタンドアロン認証)
試用版	○	△※1
正式レンタル契約	×※2	○

※1 ご希望によりハードウェアプロテクタをお貸し出しすることも可能です。

※2 正式レンタル契約を頂いた場合は、全てハードウェアプロテクタ認証になります。事前に試用版でインターネット認証をして頂いていた場合でも、ハードウェアプロテクタ認証に切り替えて頂く必要があります。

1-2. 導入の流れ



1-3. ハードウェアプロテクタについての説明

「業務委託見積システム for Windows」をレンタル契約しご利用頂くためには、ハードウェアプロテクタをコンピュータのUSBコネクタにお取り付け頂く必要があります。また、ハードウェアプロテクタのドライバソフトをインストールして頂く必要があります。

下記の図の様なスタンドアロン版は、単一のコンピュータにハードウェアプロテクタを接続し、そのコンピュータのみで弊社アプリケーションを動作させるものです。

ハードウェアプロテクタの取り付け方や必要なドライバソフトウェアのインストール方法は下記の手順で行ってください。



- ※ 予めプロテクトドライバをインストールしてください。プロテクトドライバをインストールしなければご利用になれません。また、USBタイプのハードウェアプロテクタを取り付けた状態ではプロテクトドライバのインストール・アンインストールはできません。
- ※ ハードウェアプロテクタを取り付ける前に、必ずプロテクトドライバをインストールしてください。ドライバをインストールする前に取り付けてしまった場合には、デバイスマネージャーで一旦ハードウェアプロテクタを削除した上でプロテクトドライバのインストールを行ってください。

2. プロテクトドライバのインストール



ドライバのインストールを行う前に USBプロテクトキー (Sentinel SuperPro) をパソコン本体に取り付けずに下さい。
インストール作業は、Windowsの管理者権限のあるユーザでログインしてから行って下さい。

2-1. ドライバインストーラのダウンロード

下記のURLページ（弊社ホームページ）にある「ドライバ最新バージョン (X.X.X)」をクリックしドライバのインストーラ (setup.exe) をご使用のパソコンにダウンロードしてファイルを開きます。

(<https://www.aec-soft.co.jp/public/e02/Prog.htm>)

プロテクトドライバ(スタンドアロン用)

ダウンロード

ドライバ最新バージョン(X.X.X)

AECRUS (プロテクトオンライン更新ツール)(zip)

スタンドアロン用ツール(zip) ※1

Microsoft Edge の場合

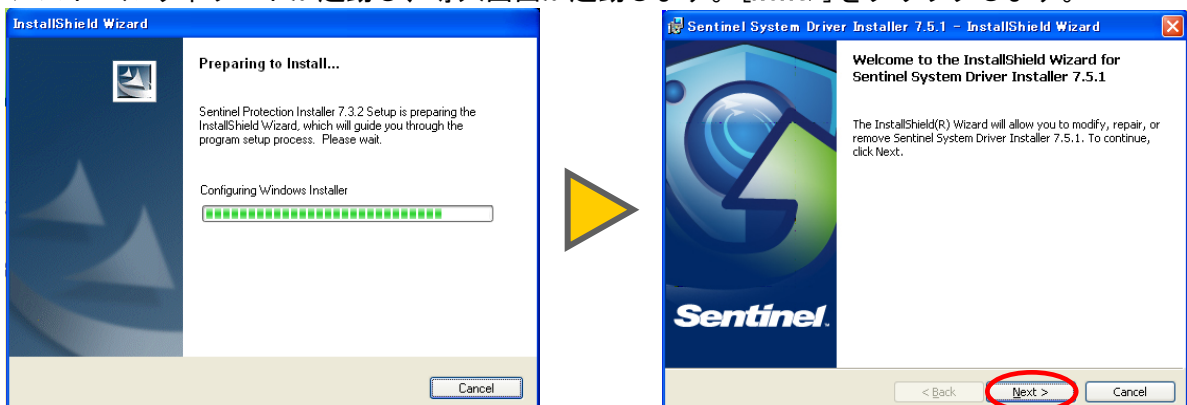
Google chrome の場合

※お手持ちのCD又は、CDイメージをダウンロードしてセットアップする場合は、「[6. CDイメージ又はCDを使用する場合のセットアップ方法](#)」を参照してください。

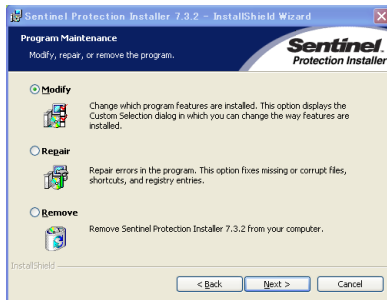
2-2. ドライバのインストール

setup.EXEが実行されます。

インストールウィザードが起動し、導入画面が起動します。[Next>]をクリックします。



既に弊社のソフトをご利用で最新のプロテクトドライバがインストールされている場合

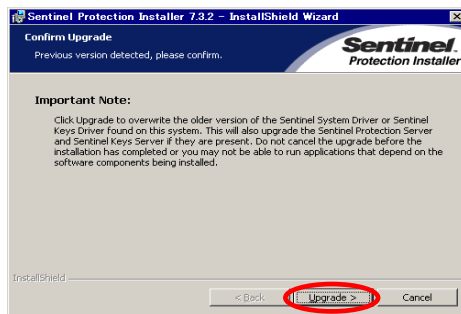


左記の画面になります。この場合は以降の処理は不要です。[Cancel]→[Finish]をクリックしてウィザードを終了して下さい。



3. 業務委託見積システムのインストールに進んで下さい。

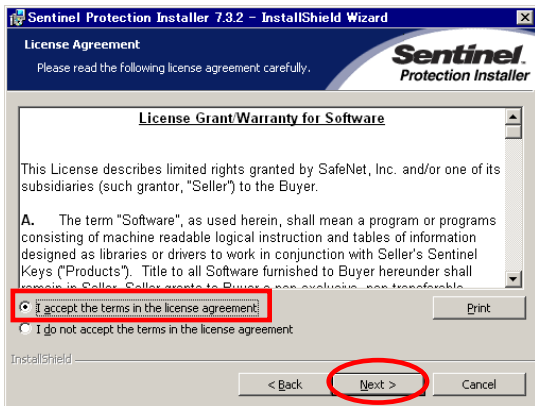
セットアッププログラムが旧バージョンのSentinel System Driverを認識した場合



先述の導入画面の前に以下のアップグレードを確認する画面が表示されます。

[Upgrade>]をクリックします。

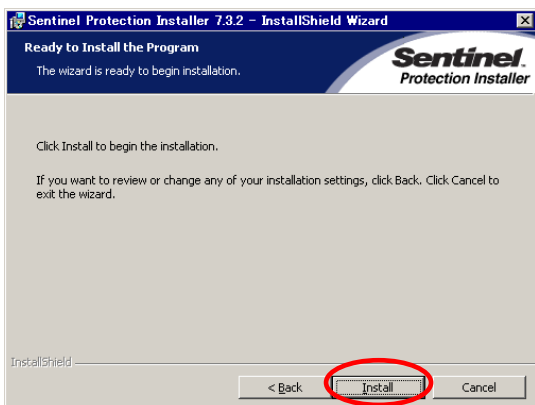
次のようなダイアログが表示されますので、I accept~(同意)を選択して進んで下さい。



[I accept~] (同意)を選択し、[Next>]をクリックします

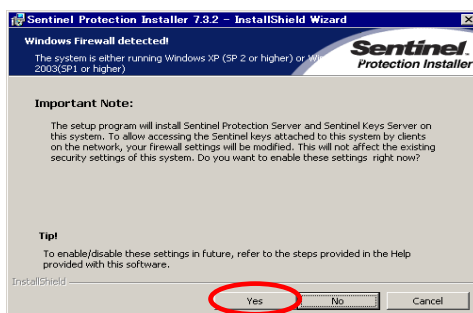


[Complete]を選択し [Next>] をクリックします。



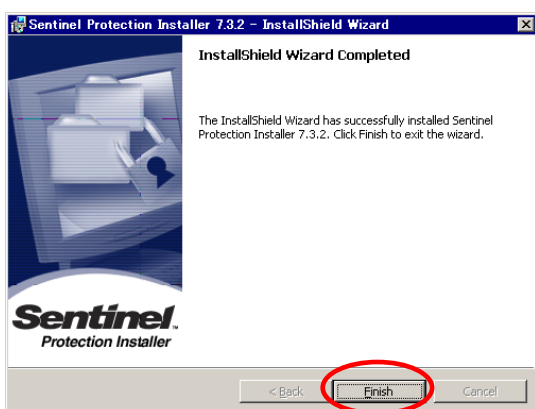
[Install] を選択すると開始します。

Windows ファイアウォールが動作している場合

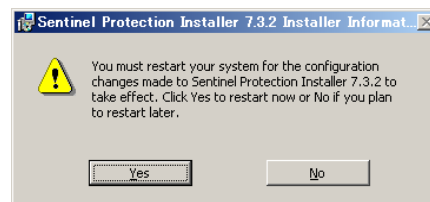


ここでは[Yes]を選択します。

Windows ファイアウォールの環境では以下の画面が表示されます。
Sentinel Protection Serverサービスを動作させるため、ファイアウォールの例外リストの設定を行うものです。



インストールが完了すると上記の画面が表示されます。 [Finish]をクリックしてウィザードを終了して下さい。



再起動のメッセージが表示される場合は、[Yes]をクリックしてWindowsが再起動します。

2-3. ハードウェアプロテクタの接続

《注意事項》



ハードウェアプロテクタをパソコン本体に接続する前に、必ずプロテクトドライバを先にインストールして下さい。

USBプロテクトキー (Sentinel SuperPro) をパソコン本体へ取り付けて下さい。

- ※ ドライバのインストールを行わずにハードウェアプロテクタを取り付けてしまった場合は、ハードウェアプロテクタをパソコン本体から外し、一旦、ドライバソフトのアンインストールを行って、再度ドライバのインストールからやり直して下さい。

3. 業務委託見積システムのインストール

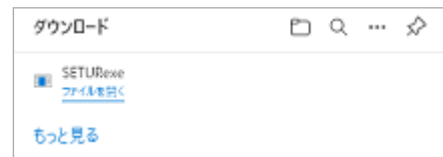
3-1. システムインストーラのダウンロード



試用版から正式レンタルに移行して頂いたお客様
既に試用版を使用中で継続してお使いになる場合は不要です。
4. ライセンス認証情報の設定 へお進み下さい。

下記のURLページ（弊社ホームページ）にある「最新版ダウンロードはこちら」をクリックし、システムのインストーラ（SETUP.exe）をご使用のパソコンにダウンロードしてファイルを開きます。

(https://www.aec-soft.co.jp/public/m01/rireki_hp.htm)



Microsoft Edge の場合



Google chrome の場合

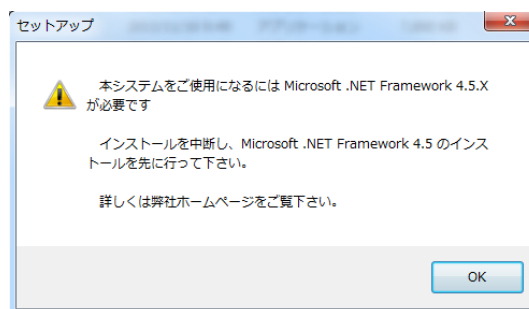
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「はい」を選択してください。

3-2. システムのインストール

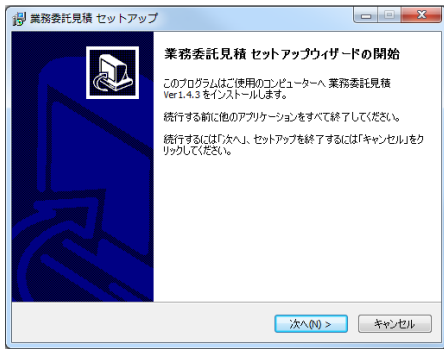
SETUP.exeが実行されます。

Microsoft .NET Framework 4.5以降がインストールされていない場合

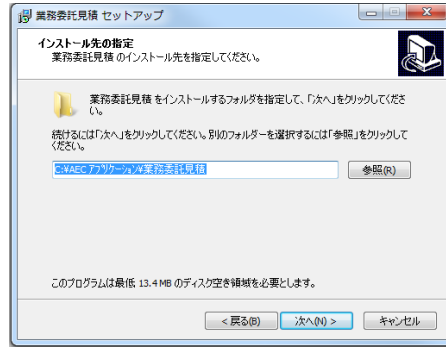
お使いのパソコンにMicrosoft .NET Framework 4.5以降がインストールされていない場合、上記の起動方法にかかわらず、以下のようなメッセージが表示されインストールを実行出来ません。



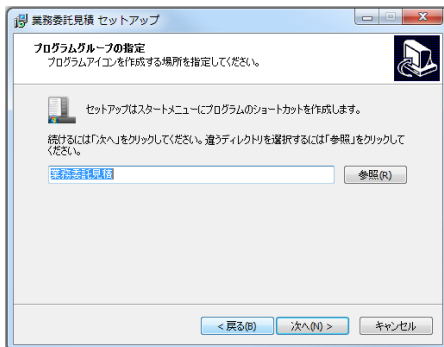
その場合は、先にMicrosoft .NET Framework 4.5以降をインストールする必要がありますので、「[3-5. Microsoft .NET Framework 4.5以降のインストール](#)」を実施して下さい。



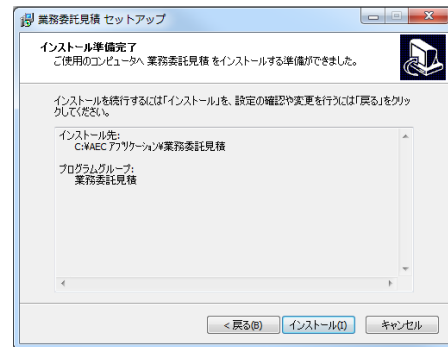
インストール開始の確認画面が表示されます。[次へ]をクリックして下さい。



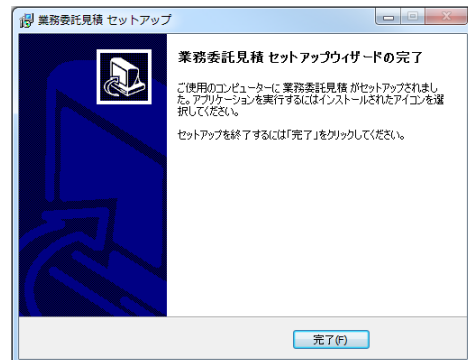
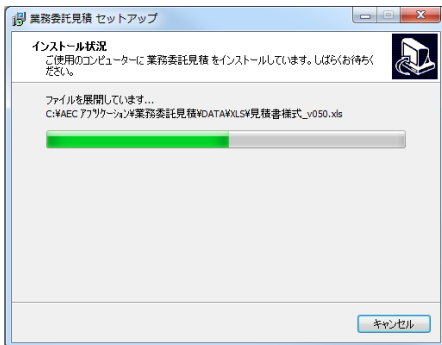
インストールフォルダの指定画面が表示されますので、システムをインストールしたいフォルダを指定して[次へ]をクリックして下さい。



スタートメニューへの登録グループ指定画面が表示されますので、グループ名を指定して[次へ]をクリックして下さい。



[インストール] をクリックして下さい。



[完了]をクリックして下さい。

ここまでで、見積システム本体のインストールが終了です。続けてシステムで使用するデータベースのインストールを行います。[「3-3. データベースインストーラのダウンロード」](#)へ進んで下さい。

3-3. データベースインストーラのダウンロード



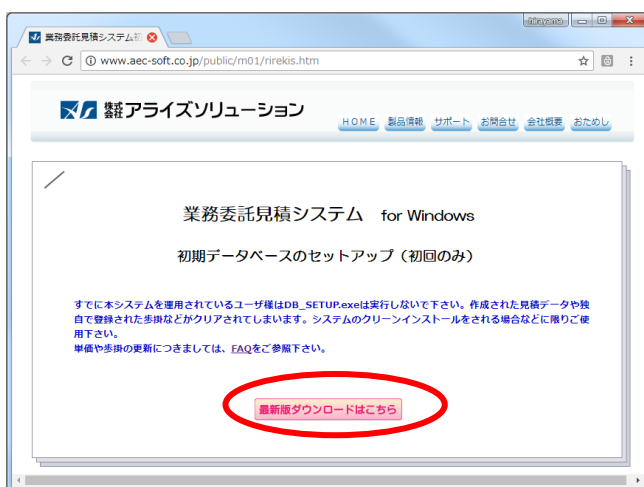
既にご試用版、或いは製品版をご使用中のお客様は、実行されないようお願い致します。誤って実行されますと、今までに作成された見積データが失われます。



必ず「3-2. システムのインストール」が実行されたパソコンで行って下さい。

下記のURLページ（弊社ホームページ）にある「最新版ダウンロードはこちら」をクリックし、データベースのインストーラ（DB_SETUP.exe）をご使用のパソコンにダウンロードしてファイルを開きます。

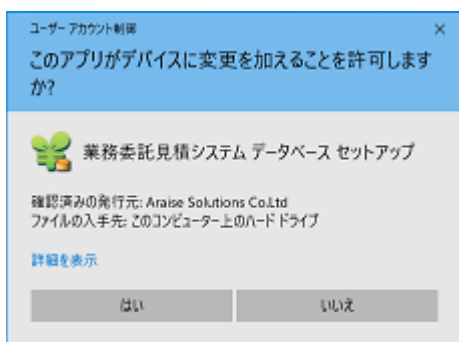
(<https://www.aec-soft.co.jp/public/m01/rirekis.htm>)



Microsoft Edge の場合



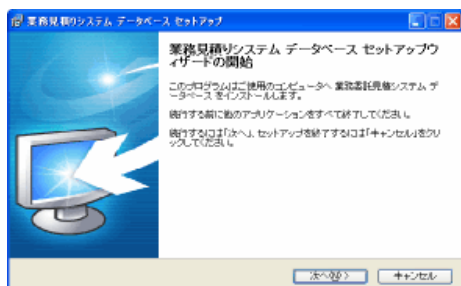
Google chrome の場合



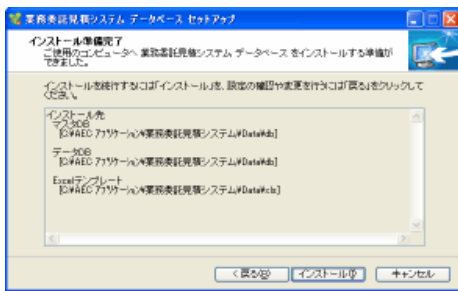
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「はい」を選択してください。

3-4. データベースのインストール

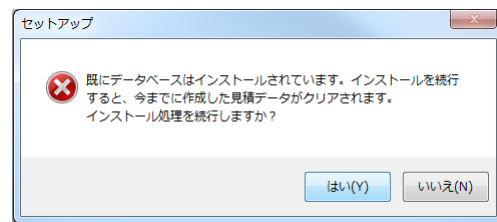
DB_SETUP.exeが実行されます。



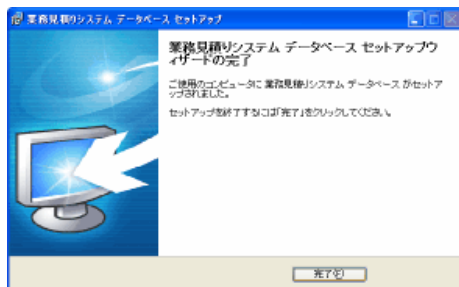
左記のような開始確認が表示されますので [次へ] を押して下さい。



インストール先の確認が表示されますので、そのまま[インストール]を押して下さい。



既にデータがインストールされている場合はその旨のメッセージが表示され、インストールを続行するかの確認が行われます。インストールを続行すると次のウィンドウに進みます。



インストールが完了すると、上記の画面になります。[完了]を押して下さい。以上でインストール作業は完了です。

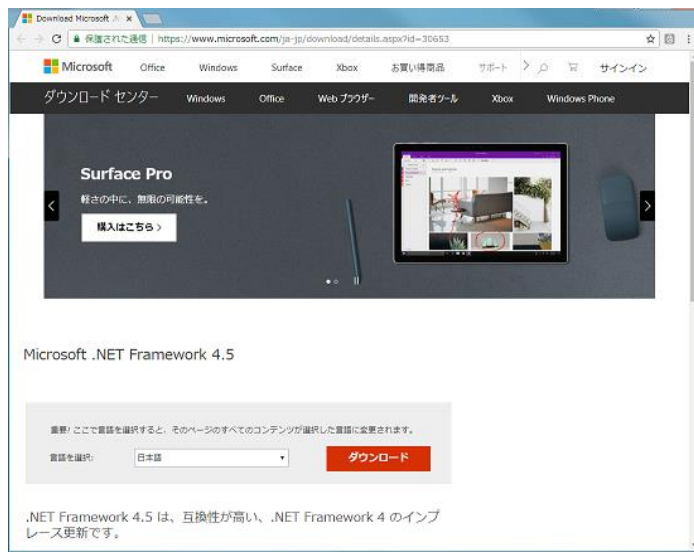
3-5. Microsoft.NET Framework4.5以降のインストール

業務委託見積システムを動作させる為にはMicrosoft.NET Framework4.5以降が必要となります。パソコンによっては既にインストールされているケースもあります。以下はMicrosoft.NET Framework4.5以降がインストールされていない場合（「3-2. システムのインストール」が実行できなかった場合）のみ行って下さい。

※ Microsoft.NET Framework4.5以降のインストールを行うには、インターネットに接続する必要があります。

Microsoftホームページのサポートページをご覧ください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=30653>



[ダウンロード] をクリックし、インストーラーをご使用のパソコンにダウンロードしてファイルを開きます。

セットアップが開始されます。あとは画面の指示に従って進めて下さい。

※ システムをインストールするパソコンがインターネットに接続出来ない場合は、別途「Microsoft.NET Framework4.5.X 再頒布可能パッケージ」を入手する必要があります。

4. ライセンス認証情報の設定

4-1. システムの起動

本システムを起動するには、[スタート] - [業務委託見積] - [業務委託見積システム]をクリックして下さい。又はデスクトップ上のアイコンをクリックして下さい。



4-2. ライセンス認証情報の設定

本システムを動作させるためには、認証情報設定を行いライセンスの認識を行う必要があります。ライセンス認証が正しく行われなければシステムを起動することは出来ません。以下の手順で設定を行って下さい。

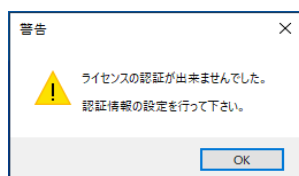


試用版から正式レンタルに移行して頂いたお客様

既に試用版をご使用中で更にインタネット認証期間内の場合は、ログイン画面が表示されます。

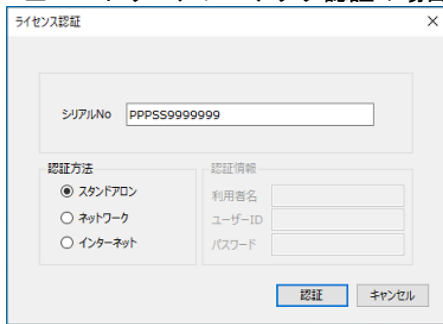
一度ログインをしてメインメニューの [環境設定] → [ライセンス認証] より、認証情報の設定を行って下さい。インターネット認証からスタンドアロン認証 (ハードウェアプロテクタ認証) に切り替えを行ってください。

ライセンス認証がされていない初期状態では以下のようなメッセージが表示されるので [OK] を押して下さい。



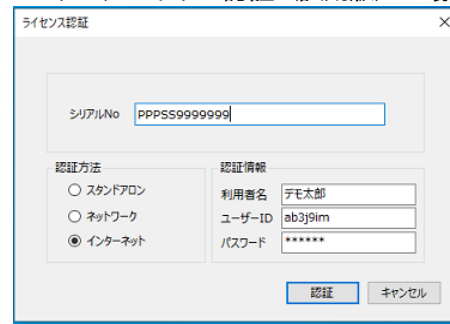
下記のようなライセンス認証画面が表示されるのでシリアルNoを指定して下さい。

■ハードウェアプロテクタ認証の場合



→「スタンドアロン」を選択して下さい。

■インターネット認証（試用版）の場合



→「インターネット」を選択し、以下の認証情報を入力して下さい。

<利用者名>

利用者を識別する任意の文字列（お名前等）を設定して下さい。

<ユーザID>

弊社よりお知らせしているユーザIDを設定して下さい。

<パスワード>

弊社よりお知らせしているパスワードを設定して下さい。

「認証」ボタンをクリックし、認証がされると 5. 初期ログイン（新規ユーザID登録）画面が表示されます。



試用版から正式レンタルに移行して頂いたお客様

3. 業務委託見積システムのインストール の処理をしていない場合は、システムの最新バージョン及び歩掛マスタの最新バージョンをご確認下さい。

[システムの最新バージョン確認方法]

システムの自動アップデート機能を使用し、最新のシステムに更新して下さい。

メインメニューの左上 [更新(U)] → [最新システムバージョンのチェック&確認(U)] より、使用中プログラムのバージョン番号及び最新のプログラムのバージョン番号 [X.X.X] が一致していることを確認してください。

詳しくは、操作説明書の「6-7. その他の機能（更新・履歴・起動時・ヘルプ）に関する機能」をご参照下さい。

[歩掛マスタの最新バージョン確認方法]

メインメニューの左上 [更新(U)] → [最新マスタバージョンのチェック&確認(M)] より、現在のマスタバージョン及びサーバ上の最新バージョン [A1.XXX] が一致していることを確認してください。

詳しくは、操作説明書の「6-7. その他の機能（更新・履歴・起動時・ヘルプ）に関する機能」をご参照下さい。

5. 初期ログイン（新規ユーザID登録）

システムを使用するには、ユーザIDの登録が必要です。システムインストール直後の初期状態ではユーザIDの登録がされていないので、以下の画面のような画面が表示されます。

- ① 「新規ユーザID登録」ボタンを押して下さい。



- ② 「ユーザ情報」登録画面が表示されますので、各項目を入力して[OK]を押して下さい。

[ユーザID]

ユーザを一意に識別するための5桁のコードです。新規作成時に入力します。修正時は変更出来ません。※省略不可

[氏名]

ユーザの氏名を入力します。※省略不可

[よみがな]

読み仮名をひらがなで指定します。

[分類コード]

当該ユーザを分類するためのグループコード3桁を指定します。※省略不可。見積もりNOに組み込まれます。→（操作説明書「6-2-1.鏡画面」[見積NO]参照）

[労務費単価県]

見積書を新規作成する際に、既定値としてセットされる労務単価の県を設定します。当該ユーザIDで見積する際にもっともよく適用する県を登録しておきます。
※ 但し、見積書作成時において、選択した客先情報に労務単価県が設定されている場合は、そちらが優先されます。

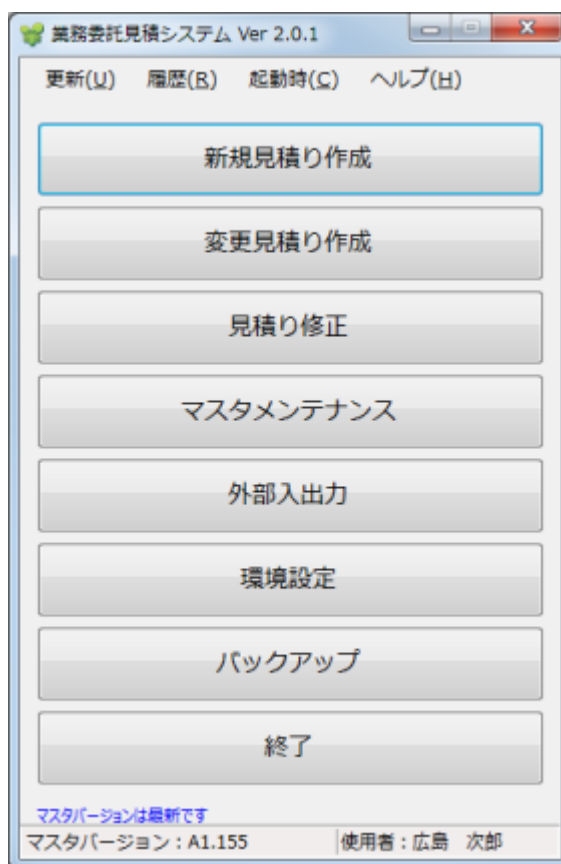
[備考]

任意に文字を登録出来ます。

ログインしたユーザIDと分類コードは見積り番号の一部に使用されます。見積書の作成者を特定する意味で重要ですので、必ず個人のIDおよび分類コードを確定後、運用するようにして下さい。



③ 以下のようなメインメニューが表示されれば、初期設定は完了です。



※ 「5. 初期ログイン（新規ユーザID登録）」の作業は、基本的にインストール後1度行うと次回からは行う必要はありません。

6. CDイメージ又はCDを使用する場合のセットアップ方法

6-1. CDイメージをダウンロード



製品CDがお手元にある場合は、[6-2. プロテクトドライバのインストール](#)へお進みください。

- ① 弊社ホームページからCDイメージをダウンロードします。下記のURLページにある「システム一括ダウンロード(zip)」をクリックし、ALL_AECSEKI.zipをダウンロードして圧縮ファイルを開きます。

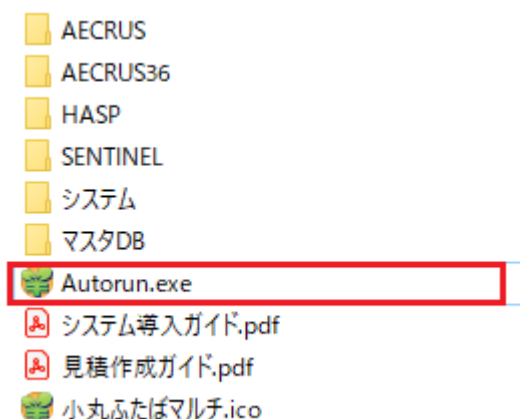
(<https://www.aec-soft.co.jp/public/m01/Prog.htm>)

Microsoft Edge の場合

Google chrome の場合

- ② 圧縮ファイル ALL_AECSEKI.zip を解凍（すべて展開）して、任意の場所に保存してください。

③ 解凍後のフォルダ内の「Autorun.exe」を起動してください。CDメニューが起動します。



6-2. プロテクトドライバのインストール

製品CDがお手元にある場合は、業務委託見積システムCDをCDドライブにセットすると自動的にCDメニューが起動します。



CDから起動する場合、パソコンの設定によっては自動起動しない場合があります。その場合はマイコンピュータなどからCD内の「Autorun.exe」を起動して下さい。

CDメニューの《スタンドアロン用プロテクトツール》の「ドライバ (VerX.X.X)」をクリックして下さい。インストールプログラムが起動します。

インストール方法は、[2-2. ドライバのインストール](#) を参照してください。

6-3. 業務委託見積システムのインストール



CDメニューから「システムのインストール」をクリックすると、業務委託見積システムのインストールを開始します。

インストール方法は、[3-2. システムのインストール](#) を参照してください。



CDメニューから「マスタDBのインストール」をクリックすると、インストールが開始します。

インストール方法は、[3-4. データベースのインストール](#) を参照してください。

プロテクトドライバのインストール、業務委託見積システムのインストールが済みましたら、[4. ライセンス認証情報の設定](#)、[5. 初期ログイン（新規ユーザID登録）](#) を行って下さい。